

● 広報

おぐに



2020

9

No. 791

— いそげ！いそげ！！ —

例年に比べて、短くなった夏休み。町岩東地区スポーツ協会（穴沢洋一会長）による地区の子どもたちを対象にした、岩魚つかみ取り競技大会（自称）が、8月14日に開催されました。逃げ回る岩魚をつかまえるため、びしょぬれになりながらも弾けるような笑顔で追いかける子どもたち。「ほら、そっちだ！」声援にも力が入ります。

豪雨の爪痕～命を守る行動を～

経過 7月28日(火)

- 2:32 大雨注意報(雷注意報継続)
- 4:53 洪水注意報(大雨・雷注意報継続)
- 9:37 大雨警報(土砂災害)(洪水・雷注意報継続)
- 10:40 小渡水位3.75m ※氾濫注意水位3.7m到達
- 11:50 五味沢水位1.3m ※氾濫注意水位1.3m到達
- 12:00 旧沖庭小学校・旧北部小中学校に避難所開設準備及び防災ラジオで避難準備の呼びかけ
- 12:10 小渡水位4.33m ※避難判断水位4.30m到達
- 12:50 五味沢水位1.40m ※避難判断水位1.40m到達
- 13:00 災害対策連絡本部設置
- 13:25 土砂災害警戒情報
- 13:30 旧沖庭小学校・旧北部小中学校に避難所開設及び防災ラジオで旧沖庭小学校・旧北部小学校に避難所開設を周知
- 14:10 避難準備情報を発令(沖庭地区・北部地区)
- 14:40 小渡水位5.04m ※氾濫危険水位5.00m到達
五味沢水位1.75m ※氾濫危険水位1.70m到達
- 15:28 洪水警報
- 17:30 役場庁舎に自主避難所開設
- 18:00 水源の郷交流館に自主避難所開設
- 19:00 小渡水位4.26mに低下
- 19:40 五味沢水位0.98mに低下
- 21:20 小渡水位3.65mに低下
- 23:03 洪水警報⇒洪水注意報に

7月29日(水)

- 0:00 旧沖庭小学校・旧北部小中学校の避難所及び水源の郷交流館・役場庁舎の自主避難所を閉鎖
避難準備情報の解除

7月28日、停滞した梅雨前線と低気圧の影響を受けて記録的な大雨となった県内。山形県の母なる川最上川が猛威を奮い、各地で甚大な被害が確認されました。本県も、7月初旬の九州に被害をもたらした豪雨災害と同様「令和2年7月豪雨」に災害認定されています。小国町でも、数多くの被害が確認されました。更に8月15日未明からの大雨により被害箇所が増大しています。今月は、町内の被害状況や町の対応を紹介します。

町の被害状況

7月28日、2時32分に大雨注意報が出されたあと、北部地区を中心に急激に雨足が強くなり、9時37分には大雨警報(土砂災害)に、13時25分に土砂災害警戒情報、15時28分に洪水警報も発表されました。正午過ぎから雨足は弱まり始めたものの、荒川の水位は上昇を続けました。辺りも暗くなった19時に小渡河川水位観測所で、ようやく避難判断水位を下回り、安堵を得ました。一夜明け、町では、町内の道路や施設の被害状況の確認を行いました。最も被害が大きかったのは、町道郷土の森五味沢線。道路脇のガードレール下部から法面ごと崩落しました(上部写真)。さらに林道では、田沢頭峠線において道路が沈下し崩壊している箇所があり、尻無沢線では土砂が流出し、路肩の決壊が

【町道郷土の森五味沢線】法面が崩壊し、土砂が崩れ落ちている▶

見られました。いずれの道路も現在通行止めとしています。

災害対策連絡

本部の対応

町では、大雨警報や荒川の水位上昇により、災害の発生する恐れがあることから、13時に副町長を本部長とする災害対策連絡本部を設置しました。会議では、情報確認を行うとともに、13時30分から沖庭・北部両地区の避難所を開設すること、その情報をいち早く町民へ届けるため、防災ラジオ、SNSを利用しての情報発信を行うことを決定しました。また、避難判断水位には至らないものの、早めに避難を開始できるよう町中心部は役場を、東部地区には、水源の郷交流館を自主避難所として開設しました。その後、

水位の低下や、いずれの避難所にも避難されたかたがいなかったこと、23時を過ぎたところで、洪水注意報に切り替わったことを受け29日0時、各避難所を閉鎖しました。

大雨の対応に限らず、地震や火災等も含めた総合的な防災対策について、小国町地域防災計画を取りまとめています。今回の災害対策連絡本部の設置や避難所開設等も計画に基づき行われました。今後、台風や地震等による避難指示や避難勧告が発令されることも想定されますので、迅速な避難行動が大切になります。

ハザードマップを確認しましょう

災害への備えとして、「ハザードマップ」があるのはご存知ですか。町では、平成28

年3月に地区別のハザードマップを作成し、全戸に配布しています。これは、荒川・横川が100年に1回程度起こりうる大雨で増水し、氾濫した場合に想定される浸水範囲と浸水の深さを示しています。併せて、土砂災害が発生する恐れがある区域を、国や県が公表した情報をもとに表示して



▲ハザードマップを確認しましょう

いますのでご確認ください。手元にかたは、町ホームページからダウンロードすることも可能です。

まず、①自宅に印をつけましょう。②家がある場所は色が塗られていますか。（塗られていないかたは、浸水や土砂災害の危険性は低いです。町からの避難情報を参考に



▲7月28日の大雨により増水した荒川（沖庭橋から）

避難の基準になる警戒レベル

警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報 (気象庁が発表)
警戒レベル2	自らの避難経路等を確認しましょう	洪水注意報・大雨注意報など(気象庁が発表)
避難		
警戒レベル3 高齢者などは避難	避難に時間を要する人とその支援者は避難しましょう	避難準備・高齢者等避難開始(町が発表)
警戒レベル4 全員避難!	速やかに全員避難しましょう	避難勧告・避難指示(緊急)(町が発表)
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう	災害発生情報(町が発表)

必要に応じて避難してください。③想定される浸水の深さを確認しましょう。3m未満のかたは、頑丈な建物の2階以上に避難するか、避難所等に避難しましょう。3m以上のかたは、2階以上にも浸水する恐れがありますので、その区域からの避難が必要になります。

では、こういった基準で避難を開始したらいいのでしょうか。先月号でもお知らせした「警戒レベル」(左上図)を知

っておくことが必要です。その上で、ご確認いただきたいのが、家族の避難にどのくらい時間が必要なのかです。ご自身または一緒に避難する方が避難に時間がかかる場合は、警戒レベル3(町が避難準備情報を発表する時点)で避難を開始しましょう。(避難所開設前であれば、知人宅等に)それ以外のかたは、警戒レベル4(避難勧告等)が発表されたら速やかに避難してください。



▲【林道田沢頭峠線】約70mに渡り崩壊

小国町消防団 迅速な対応

河川水位観測所で氾濫注意水位を超えた小渡(10時40分)、五味沢(11時50分)地域では、地元消防団の第5、第6分団による河川の監視や被害確認のための巡回が行われました。ライブカメラや水位観測所データでは把握できない箇所、正確な情報収集を行うための団員配置になります。その後、旧沖庭小学校・旧北部中学校に避難所が開設し、高齢者等の避難受け入れが開始されました。そして、町内全域を対象とした、消防団全分団に待機、警戒出動が要請され、総勢76人の団員が管轄地域の災害情報収集等に従事しました。その結果、沢水などの道路への流入が各地で確認されています。大量の水が入り込み、側溝等に土砂が詰まったことが要因です。これを受け、

消防団は、家屋へ浸水等の被害が拡大しないよう、土のう設置や、土砂の取り除き作業などを行いました。土のう搬送には、各分団に配備を進めている軽トラックが活用され、有効性が確認されました。また、SNS等を利用した団員の招集が行われ、平日の日中にも関わらず素早い対応ができています。日頃の訓練の成果が発揮され、人家などへの大きな被害もなく、地域を守る消防団の活躍が光りました。



▲被害拡大を防ぐため、消防団が側溝の土砂を取り除いている様子【写真提供＝第2分団】

8月15日からの 大雨により更なる 被害が発生

7月28日の豪雨から2週間程たった8月15日。深夜から南部地区や東部地区で強く降り始めた雨は急激に勢いを増し、16日1時53分に大雨警報（土砂災害）が発表。その後、2時10分土砂災害警戒情報、24分洪水警報に格上げ、4時18分には大雨警報（土砂災害・浸水害）が発表されています。雨は次第に弱まり、8時55分



▲【町道小坂町朝篠線】黒沢地内大沢橋
橋脚がズレ落ち通行不可に



▲【林道樽口峠線】展望台樽口側700m地点
土砂崩れにより通行不可に

土砂災害警戒情報は解除されました。被害の状況としては、黒沢から種沢へと続く大沢橋の橋脚が損壊しました。また、市野沢から足水中里に向かう主要地方道玉川沼沢線で土砂崩れが発生しています。（現在は、片側交互通行により通行可）、さらに樽口峠線でも、樽口峠展望台から樽口側700m地点で土砂崩れが発生し、通行ができない状況です。その他、町道百子沢線、極楽峠は大雨の影響により通行できません。（8月26日現在）町

では、被害箇所の迅速な修繕等を実施していますが、大規模な災害箇所について、現在、国や県と調整しながら災害復旧対応を進めています。

命を守る行動を

町が災害に見舞われるとき、思い起こされるのが昭和42年8月28日に荒川水系全域に甚大な被害をもたらした羽越水害です。飯豊・朝日連峰を中心とした山々の幾重にも走る沢や山腹から、土石流が流れ

出たことによる被害と、土砂とともに流れ出た大量の倒木が橋に引っかけたことで河川が氾濫し、多くの被害が発生しました。その対策として、国土交通省飯豊山系砂防事務所による国直轄の砂防事業が進められ、着実に安全性は向上してきました。施設面の安全性は向上してきましたが、そこに暮らす我々の準備はどうでしょうか。近年、いわゆるゲリラ豪雨が頻発し、土砂災害や洪水の危険性が高まっています。羽越水害のような被害を出さないように、自主防災組織による日頃の備えを進めるなど、皆さん一人ひとりが災害と向き合い、適切な避難方法・場所を事前に決めた、安全な避難計画を家族で共有していただくことが重要です。併せて今一度、準備している備品等に不備がないか確認し、いざという時に「命を守る行動」ができる準備を心がけましょう。

就任のあいさつ



小国町長 仁科 洋一

このたび、多くの町民の皆さまの温かいご支援とご支持を賜り、2期目の着任となりました。第2ステージへ果敢に挑戦してまいります。

私は、町民の皆さんに「親子で住める町づくり」というスローガンを呼びかけてきました。言うまでもなく「住み続けたい」という土地があり、一人ひとりが大切にされる、互いに助け合う優しさと笑顔があふれている。」そんな町をつくりたい。ふるさとの魅力を遺憾なく発揮するための舞台づくりです。

1期目では、白い森ブラン

ドを町内外に広くPRし、町のソフト面の整備を行ってききました。浸透してきたと手応えも感じています。2期目の4年間で取り組むのは、「新・総合文化センター」の建設です。既に基本構想は完成していますので、立地の安全性を検証し、来年度中には建設場所の決定を目指します。引き続き、幅広い世代からの意見をいただきながら、より良いセンターづくりに取り組んでいきます。様々な課題に真摯に向き合い、町民の皆様とともに町づくりを進めて参ります。希望あふれる「白い森の国」づくりに一緒にチャレンジしていきましょう。

新型コロナウイルス感染症対策関連情報

町補助金等活用相談会を開催

新型コロナウイルスの影響により事業収入が減少した事業者を支援するための給付金制度や、新しい生活様式に対応することを目的に実施する事業に対して補助金を創設しています。これら制度に関する申請方法等に関する相談会が8月6日(木)、7日(金)に小国町商工会を会場に開催されました。相談会には、11の事業所が訪れました。



大幸薬品(株)からクレベリンを寄贈いただきました 子どもたちの安全を守るために

小国町の工場で「正露丸」の主成分「木クレオソート」を製造している大幸薬品(株)から「子どもたちのために活用していただきたい」と、部屋に浮遊するウイルスの除去に効果的だという「クレベリン」置き型80個、スプレータイプ54本を寄贈いただきました。町内の小中学校等に配布し、活用させていただきます。



来たれ！ワカモノ！スマホでできる！！プロが教える動画プランニング

地域プロモーション メディアプロデューサー養成講座開講

今後の地域づくりを担う人材育成を目的とする講座です。「白い森おぐに」の写真や動画を組み合わせて物語を創り出す技法を学びます。本格的な機材は必要ありません。お持ちのスマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した題材で魅力ある動画を作成してみませんか。

■日 程 10月中旬から3月までの全4回（詳細についてはお問合せください。）

■会 場 小国町役場（撮影等で会場が変わる場合もあります。）

■対 象 町内在住・在勤・在学で「白い森おぐに」を題材とした動画制作に興味のあるかた
高校生～概ね45歳のかた（5人程度）

■参加費 無料 ※撮影機材（スマホ・デジカメでも可）はご準備ください。
（編集に必要な機材（パソコン等）はこちらで用意します。）

■申込方法 電話で9月末日までに下記までお申し込みください。
（お名前、電話番号、年齢を確認させていただきます。）

■申込・問合せ先 総合政策課 政策企画室（☎62-2264）へ



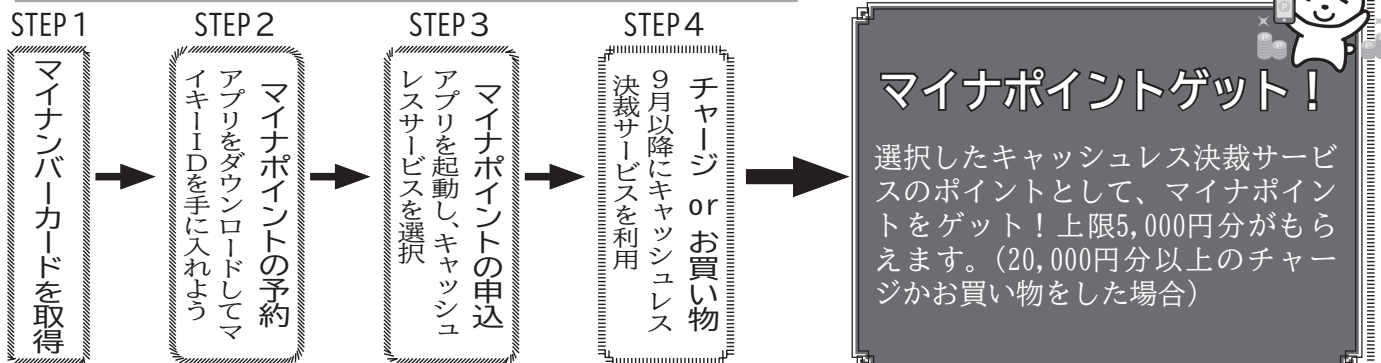
マイナポイントの申込はお済みですか？



マイナポイント（〇〇ペイなどで使えます）をもらってお得にお買い物をしましょう！

マイナポイントとは、その名の通り「マイナンバー」と「ポイント」を引き合わせた、国が実施する消費活性化策のひとつで、マイナンバーの普及促進とキャッシュレス決済サービスを普及することが目的です。現在、小国町では、マイナンバーカードが2,106名の町民のかたに交付され、普及率27.6%（県内全域は13.97%）となり、県内では普及率第1位となっています。（7月末日現在）

《4STEPでマイナポイントをゲット！！》



※対応したパソコン・スマートフォンがないかたへ

予約・申込には、マイナンバーカードを読み取れるスマートフォン、またはカードリーダーを接続したパソコンが必要です。お持ちでないかたは、町民税務課住民窓口（☎62-2260）のパソコンを利用できますので、お気軽にお越しください。



防犯功労表彰・感謝状伝達式 地域住民の安全・安心のために

8月12日に、小国警察署において、60年にわたり、行ってきた防犯活動の功績が認められ、小国町防犯協会（会長仁科洋一町長）と同協会白沼支部長の山口昭一さん（沼沢）に表彰状が手渡されました。また、高齢者交通安全指導員を12年間務めた井上正美さん（綱木箱口）には、長年の活動に対して、感謝状が手渡されました。



おぐに歴史文化研究会設立 地域の歴史文化を未来へ

8月2日、おぐに開発総合センターで「おぐに歴史文化研究会」（渡部眞治会長）の設立総会が開催されました。町内から18人の会員が集まり、会の規約や役員体制を決め、町の歴史や文化について学び、その価値を掘り起こしていくという活動方針について話し合いました。また、総会後は、蛸原一平さん（地域研究研究者・幸町）による「これからの『小国学』を考える」と題した講演が行われ、地域の歴史研究を分かりやすく伝え、広くひらかれた地域学を創っていくことの意義について学びました。



小国高校生が運転卒業証書を制作 証書を見てあったかい気持ちに



運転免許証を自主返納する人に渡す「運転卒業証書」を、小国警察署から依頼を受けて製作した小国高校生5人に7月29日、感謝状が手渡されました。感謝状を受け取ったのは、3年の山口碧さん（中島）と今夢々花さん（東原）、2年の保科奈緒さん（兵庫館）、1年の和田彩日香さん（岩井沢）と小松幸恵さん（飯豊町）。「免許証を返納されたかたに、証書を見てあったかい気持ちになってもらえるようにデザインしました。」と話してくださいました。町では、自主返納されたかたを対象に町営バスの運賃を無料にする制度を行っています。ぜひ、ご活用ください。

戦後75年 第56回小国町戦没者追悼式を挙行



第56回小国町戦没者追悼式が、8月10日おぐに開発総合センターで挙行され、参列した遺族や関係者は、本町の戦没者467柱の御霊に追悼の意を捧げました。出席者を代表して町長が「戦没者の皆さまの祖国繁栄の熱い思いを改めて心に刻み、かけがえない「ふるさと小国」のさらなる発展こそが、御霊に報いる道であると信じ、引き続き町民の皆さまとともに「白い森の国」おぐにのまちづくりを展開してまいります。」と式辞を述べました。

暑中見舞いはがきを高齢者施設へ コロナに負けずに元気を出して

小国郵便局は7月29日に小国中学校でボランティア授業「暑中見舞いはがきの書き方を学ぼう」を行いました。(小国ガスエネルギー㈱(舟山泰則社長)、渡辺孝夫建築の協賛で実施)中学生161人は、コロナの影響で面会制限のある施設のお年寄りへ、「家族に会えないけれど、はがきを読んで元気を出してほしい」と、真剣な表情で書いていました。はがきは、8月6日各施設へ届けられました。



令和2年7月豪雨被災地の復興支援に 小国中学生が義援金を贈る



7月4日から発生した、「令和2年7月豪雨」で被害を受けた被災地を支援しようと、小国中学生が8月6日、義援金1万5,200円を日本赤十字社町分区長を務める小国町長に寄託しました。生徒会長の舟山颯太さん(兵庫館)から「被災地の復興に役立ててください」と目録が手渡されました。

「studioこぐまの活動も本格化してきました」

地域おこし協力隊 ^{ほんま} 本間 かりん

協力隊通信

series 53

初めまして。2月から地域おこし協力隊のstudioこぐま担当として活動している本間かりんです。私は南部にある旧小玉川小中学校を拠点に芸術活動をしています。小国に来てから半年ほど経ちました。日々飯豊連峰の美しさに圧倒されています。私は夕暮れの景色が好きで、毎日違う表情をみせる山々に、とても贅沢な気持ちになって学校から自宅に帰っています。

studioこぐまの活動は当初例年通りに講座の開催や地域行事への参加を計画していましたが、新型コロナウイルスの影響により、人と接する活動が一旦全てなくなり、夏から少しずつ講座の開催等を増やしている最中です。特に「子どものアトリエ広場」は参加してくれた子ども達に好評で、元々教室だった場所にブルーシートを敷いて伸び伸び絵が描けるので、普段お家で絵が描けなかったにぜひ遊びに来ていただきたいです。また、町の花、木、鳥を描いた小国モチーフのエコバックを作成しました。道の駅やまちの駅アスモに置いて頂けることになったので見かけた際はお手にとってみてください。

実は小国に来てから虫が苦手なことに気がついてしまい、悲鳴をあげながら過ごしています。どうにか慣れたいな…と思う今日この頃。これからも色々と活動していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



▲子どものアトリエ広場

地域の学び舎、冬季分校

⑤ 樽口

本町南部を流れる清流、玉川。その支流、足水川の上流部にある足水中里集落に明治6

(1873)年(※1)、当地区で初めての学校が誕生しました。その年、玉川小学校(※2)が玉川集落で開学しましたが、この足中地区からは距離があり通学するのが困難でした。そのため、その分校が足水中里の慶昌寺に設けられることとなったのです。それ以来、休校となる平成21年まで、この足水中里分校(※3)が、足水川上流域における学校教育の中心を担っていました。

しかし、本校区内には冬期間、足水中里まででさえ児童が通学するのは困難な集落があり、二つの冬季分校(戦前は冬季臨時分教場)が開設されていました。その一つが今回紹介する樽口冬

季分校であり、もう一つが、百子沢川のほうにあった北山冬季分校です。

足水川の最も上流側に位置する樽口集落。ここに大正6(1917)年12月、冬季分校の前身となる冬季家庭教育所が初めて開かれました。そして、それから17年後の昭和9年、公的な学校として冬季臨時分教場の設置が認可され、樽口の子どもたちは12月から3月までの間、ここで学校生活を送るようになりました。

その冬季分校に1年生から6年生までの冬期間通ったという樽口の渡邊正義さん(昭和28年生まれ)。「オラだの頃で(樽口冬季分校の)生徒は15、6人いた。先生は一人。その頃は(米野)岩根先生っていう樽口の人がつと専門でしてたな。その岩根

先生に、学校入る前から冬頃、『来年から学校入るんだから、遊びに來い』なんて言われてよ。同級生と二人で行って、遊びがてらずつといてあったな。」と言います。

「1年生から3年生までが前半。あと、問題出して、解いて言って、後半に4年生以上を教える。そういうふうに分けて授業をしてたんだ。全教科あった。音楽も。岩根先生は歌上手であつたから、オルガン弾きながらな。

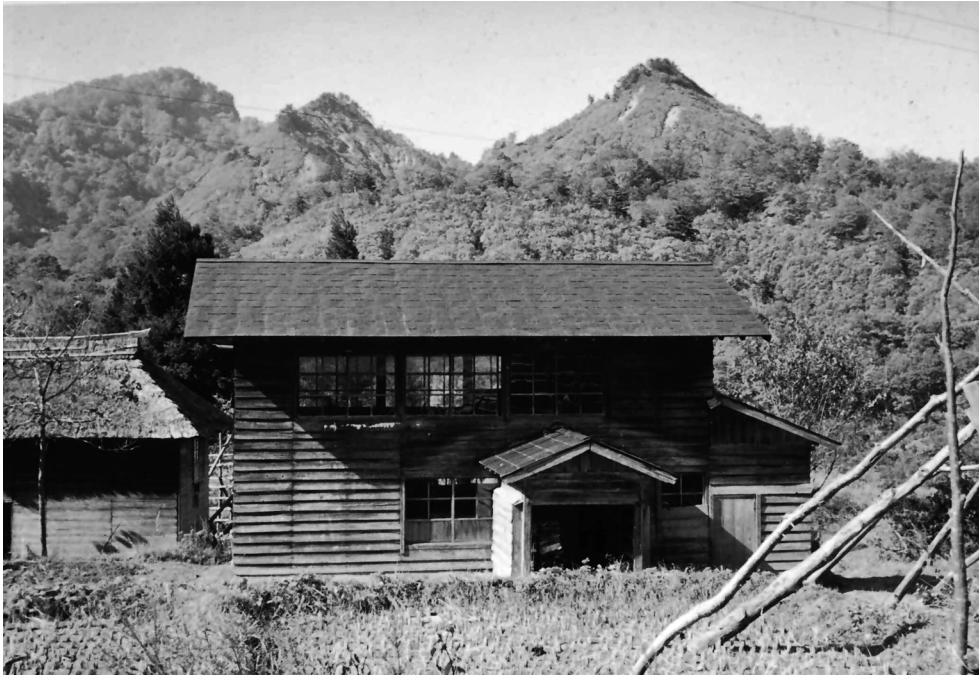
スキーもした。岩根先生が各家回って、スキー道具を買わせるよう親たちを説得してよ。そんでけっこう良いの揃えさせられたし、あと、十何人も教えてるから授業中うるさいこともあるんだ。そうすると、晴れた日なんか『昼からスキー行くから早く勉強せい』って言って勉強させて、午後からずつとスキーしてたりよ。だから、足中の学校で毎年スキー大会があつたんだども、樽口勢が上位総なめだった。」と、渡邊さんは話します。

当時は一冬でたいい4mは雪が積もっていたという樽口。そのような厳しい環境のなか、たくましく、しっかりとした子どもたちが育っていたのです。

「クリスマス会とかいろんなことした。全部自分らでさせられてな。さいず焼きなんていうと、木を子どもらみんなで(山に)迎えに行つてよ。(木を)倒すときはちようど良いと思つたのが、運ぶときになつて重たいからつて根元また切つて、ななんてこともあつたな。そうして、それを今度、引きずつて下ろしてくるんだ、子どもたちで。大人なんて、はまんねえ。

道ふみとかも自分たちでした。雪積もると道路の方が高くなつてな、階段作つて下りねば(学校の)玄関さ入らんねえんだ。だから毎朝、飯食う前に学校さ行つて、雪掘り。そしてあと、近くに降雪量と積雪量を測る棒あつたから、それ測つて。そういうのは高学年の仕事であつたから、5、6年になると皆させられた。

あと、冬季分校だと6年生か



▲樽口冬季分校（年代不明）

2階は1室だけで、そこが教室だった。1階には、教員用の部屋と炊事場、体育室があった。玄関入ってすぐのところにあった体育室は卓球台を1台置くと隙間がほとんどなくなったという。この建物は、冬季分校が休校してからしばらくは公民館としても使われていた。（写真提供＝小国町教育委員会）

ら1年生までずっと一緒にいるから、面倒見は良かったな、小っちゃな子の。悪いことすれば上級生が叱って。そういうしつけも自分らでちゃんとしてたな。」と、渡邊さん。

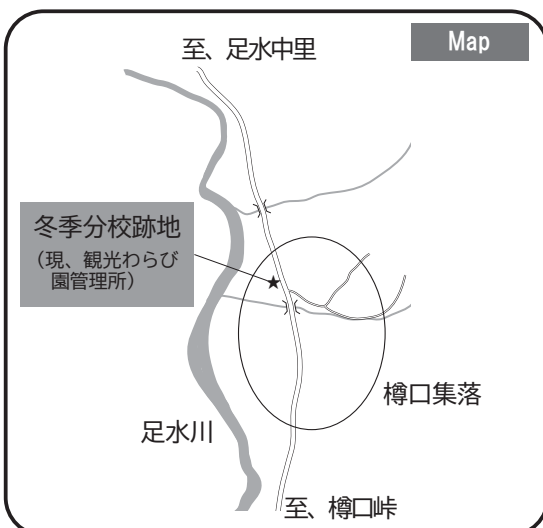
そんな子どもたちは、学校生

活を冬期間ずつとも過ごした教員にとってもかけがえのない存在であったに違いありません。昭和32年度から、最後の開校となった昭和54年度までの23年間にわたりずつと樽口冬季分校で教員を勤めた米野岩根さん

（故人）は、『あしなかの学校』（足中小中学校創立20周年記念誌、1983年発行）のなかで分校の概要を紹介しつつ、次のように締めくくっています。「あの雪に閉ざされた分校生活にどの子もめげず、いつも明るく元気に生き生きと飛び回っていた姿は、私の臉から生涯消え去ることはないでしょう。」

今でも、地域でどこか壊れたり、土砂崩れが起こったりすると、まずは自分たちで機械や道具を持って行って応急の処理をおこなうのだという渡邊さん。みんなで協力し、自分たちのことは自分たちです。そういった冬季分校の精神は、今も集落に息づいているのです。

※1『小国町史』には、明治6年8月「生徒通学の便をはかり足の水中里村に分校を設く。（足中里慶昌寺）」とあるものの、翌7年6月「足水・足水中里に分校を設く。」とも記されている。これに



ついて『あしなかの学校』では、『玉川小沿革誌』の記述にもふれながら、玉川小学校の分校として正式に設置されたのが明治7年としている。

※2 玉川小学校は、明治6年5月の開学当初は小国小学校の分校であったが、同年8月に独立校となった。

※3 昭和38年からは独立校として小国町立足中小学校（及び足中小学校）となった。しかし、生徒減少に伴い昭和58年、玉川小学校、南部中学校にそれぞれ統合され、小学校は再び分校となった。

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式

初めて手にする家具は町内産木材で

令和元年度に3歳を迎えた児童を対象に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期されていた、ファーストファニチャー贈呈式が8月22日おぐに開発総合センターで行われました。贈呈する家具は、「tlte（とるて）」という家具です。東北芸術工科大学が本町をフィールドに行ったプロダクトデザイン演習（詳細は次ページ）の中で提案のあったデザインの中から、選ばれました。tlte（とるて）は「手を取り合う」という言葉から生まれており、手を伸ばした先で親子のふれあいが増えることを作者の及川崇弘さん（神奈川県・当時大学2年生）は期待しています。このデザインをベースに東北芸術工科大学と株式会社オカムラ、白い森木工館がブラッシュアップしたものを、贈呈しています。贈呈式では、20人に手渡され、初めて手にする自分専用の家具を前に子どもたちは、目をキラキラさせていました。



tlte(とるて)



▲しっかり自分で受け取りました



▲最後は自分の手で仕上げオイルをゴシゴシ

日本に住む全世帯参加の国勢調査はじまります。

Let's Join!!
#みんなの国勢調査

インターネット回答期間

9/14 月 → 10/7 水

調査票（紙）での回答期間

10/1 木 → 10/7 水

国勢調査2020

<https://www.kokusei2020.go.jp/>



国勢調査2020



総務省統計局・山形県・小国町

\\ 山形県に住む全世帯のみなさまが対象となります!!

#一緒にやっべ国勢調査



白い森の木から生まれる 優しいデザイン

小国町には豊かな森が広がり、その森は、ぶな文化やマタギ文化といった独特の生活文化を育むとともに、山菜やきのこ、木の実など様々な恵みを与えてくれます。また森からもたらされる木材は、木工品や建築資材、暖房の燃料としても活用してきました。

町ではさらに、町内産木材の利活用と各世代における木の育の取り組みを進めており、その一環として、東北芸術工科大学のプロダクトデザイン演習を、平成27年度から受け入れています。これは、学生が小国町について学び、町の木材を使って家具をデザインすることを目的としており、町民のかたがたと交流しながら一緒にデザインに磨きをかける発表会も開催しています。

小国町の子育て環境や木の特性を考慮したデザインとなっており、参加した町民からは「素敵なデザインで自分でも作ってみたい」といった感想が出されました。今後さらに検討が重ねられ、この中から来年度の3歳児に贈る家具が選ばれる予定です。

これから、小国町から優しいデザインが生まれ、白い森の木々が素敵な家具や小物に生まれ変わってたくさんの人に使ってもらえるよう、町としても応援していきます。



OGUNI 白い森 ニュース

小国の魅力をオンラインで紹介 白い森まるごと体験ツアー 『リモートトリップ』

8月23日、小国町の魅力を発信するため「GoToリモートトリップ in 小国町」を開催しました。リモートトリップとは、自宅に居ながら、まるで旅行をしているような気分が味わえるオンラインバーチャル体験です。

今回は、ペレットマンの高橋睦人さん、安以子さん夫妻が講師となり、小玉川の河原と各家々を「オンライン通話システム」を使って中継を繋ぎ、参加者全員でピザづくりを行いました。その材料として、事前に参加者の自宅に小国産の新鮮な野菜を盛り込んだ「ピザセット」をお届けしています。全員で同じ料理を食べることにより、離れた場所でも小国の魅力である「食」や「自然」を共有することができました。



参加者は、移住を検討している家族などを含む10組で、首都圏や関西からも参加しています。新型コロナウイルスの影響で小国町への往来が難しくなっている状況ですが、今後もオンラインイベントを活用し小国町の魅力を発信していきたいと思います。

▲離れていても、小国の魅力を共有できました



玉川の取水口から発電所までの建設中の水路を見学

玉川地区による、建設中の玉川第二発電所見学、今しか見れない箇所、子どもたちは、目をキラキラさせていました。



発電所本館内の見学

夏休みの思い出づくり チャレンジウィーク 夏の学校 地域体験学習講座

※他にも、叶水地区のパークゴルフ体験（雨で中止）、旧沖庭地区のレクスポ体験、小玉川地区のガムラン演奏など、盛沢山の企画が行われました

今年の夏休みは、コロナの影響により、例年より短く、子どもたちにとっては物足りなかったのではないのでしょうか。そんな中、白い森学習支援センターが主催するチャレンジウィークが8月6日から行われました。地域体験学習講座では、地域のかたが先生となり、子どもたちに昔あそびを教えたり、発電所見学を企画したりと特色ある講座で子どもたちを楽しませていました。参加した子どもたちは、「また、来年も来たい!」と満足した様子で帰っていきました。



▲白沼地区では、まりつきやお手玉をわらべ歌にのせてチャレンジ! なかなか上手にはできないけれど、あきらめずに挑戦していました。



伊佐領地区で行われた昔あそび水鉄砲や竹とんぼを自分で手作り。できた作品を使って夢中で遊んでいました。



水鉄砲でねらい撃ち

移住世帯のかたへ 家賃補助制度がスタートしました

県では、一定の条件を満たす移住世帯が、賃貸住宅に入居した場合にその家賃の一部を補助します。

■対象要件

- ①令和2年3月1日以降に県外から県内の市町村に転入すること
- ②転入前に公的相談窓口等を利用していること
- ③会社等の転勤や進学による異動でないこと

■対象住宅

自己の居住のため新たに賃貸する住宅

※下記の住宅は対象外となります。

公営住宅、社宅・寮などの雇用主から貸与される住宅、
3親等以内の親族が所有する賃貸住宅

■補助金額 月額最大1万円（転入翌月から最大24カ月）

■問合先 （一社）ふるさと山形移住・定住推進センター
（☎023-687-0777）へ

看板の落下・倒壊に気を付けましょう

屋外広告物（看板）の落下や倒壊事故が増加しています。雨風によるボルトの腐食や、強い日差しにより看板部材の劣化が進みます。事故を防止するため、定期点検を行い、安全管理に努めましょう。

※看板の設置には、県への申請が必要な場合があります。

■問合先

置賜総合支庁
西置賜建設
総務課行政係
（☎0238-88-

8223）へ



▲県内で発生した腐食による倒壊事故

相 談

▽休日・夜間 納税相談

お仕事などの都合で平日の日中に税金・保険料の納付や、納税に係る相談を行うことが困難なかたのため、下記のとおり、休日と夜間に納税相談の窓口を設置します。この機会にぜひご利用ください。

◆受付内容

『町県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料』の納付と納付に係る相談

◎休日納税相談

■日 時 9月13日(日)9:00~16:30

◎夜間納税相談

■日 時 9月14日(月)~17日(木)
17:30~20:00

納税相談共通

■場 所 役場 町民税務課

■問合先 町民税務課税政管理室
収納担当（☎62-2403）へ

▽マイナンバーカード申請受付・交付

上記、休日・夜間納税相談と同じ時間にマイナンバーカードの申請受付と交付を行います。希望されるかたは事前にご予約の上、町民税務課までお越しください。

■問合先 町民税務課町民生活室
住民窓口担当（☎62-2260）へ

※お越しの際は、役場正面玄関からお入りください。

入札結果情報（令和2年7月21日～令和2年8月20日実施）

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R2.7.27	令和2年度道路メンテナンス事業町道弁当沢線木附沢橋更新設計業務委託	綱木箱口	R2.10.30	—	—	不調
R2.7.27	令和2年度道路メンテナンス事業町道若山金目線若山橋ほか1橋橋梁補修設計業務委託	若山ほか	R2.12.18	9,150,000	(株)CPC山形事務所	6,100,000
R2.7.27	令和2年度小国町公共下水道事業下水道ストックマネジメント管渠調査業務委託	幸町ほか	R2.12.22	39,736,000	太田建設(株)	39,500,000
R2.7.29	令和2年度町道長者原内川線改良舗装工事	小玉川	R2.11.15	18,650,000	玉川開発(株)	18,100,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 2戸(1・4階)

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

②町営住宅あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■対象

▽世帯状況に応じた所得制限あり

▽60歳以上のかたで自立した生活を送ることができ、同居するかたが配偶者または60歳以上の親族であること

①②共通

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 9月10日(木)

◎入居時期 10月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当(☎62-2431)へ

お知らせ

ひとり親家庭交流会の

ご案内

■日時 10月4日(日)10時〜15時

■場所 リナワールド(山市)

■対象 県内のひとり親世帯(中学3年生までのお子さんがある世帯) 先着60世帯

■内容

午前 研修・交流会

(子ども園内自由行動)

午後 親子交流

(園内自由行動)

■参加費 大人1500円

子ども(3歳以上)1000円

■申込期限 9月4日(金)

■申込・問合先 山形県母子寡婦福祉連合会事務局(☎023-633-0962)へ

保育士就職・再就職支援研修会のご案内

保育の仕事に興味のあるかた、保育士として再就職を考えているかた、ぜひご参加ください。

■日時 9月30日(水)13時〜16時30分

■場所 伝国の社置賜文化ホール(米沢市)

■内容 ①基調説明「山形県の保育の現状と取り組み」

②講演「ここ10年の保育の移り変わり」③事例報告「再び子どもたちの笑顔に出会おう」④相談カフェ⑤保育

の職場実習(別日程で1日)

■参加料 無料

■申込・問合先 山形県福祉人材センター(☎023-633-7739)

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちのかたへ

危険物取扱者・消防設備士の義務として、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書換え(免状の更新)をしなければなりません。免状の写真下欄記載の期限をご確認下さい。

■問合先 (一財)消防試験研究センター山形県本部(☎023-631-0761)へ

「心の健康相談」のご案内

1人で悩んでいませんか?

保健所では精神科医や保健師が面接相談を行っています。

■相談会場・日時(要予約)

①置賜総合支庁・原則、毎月第3水曜日と偶数月第1木

曜日 9時30分〜11時30分

②置賜総合支庁 西置賜地域

振興局・原則、奇数月第1木曜日 10時〜12時

■問合先 置賜総合支庁地域保健福祉課精神保健福祉担当(☎0238-22-3015)へ

山形県下水道協会

第30回排水設備工事

責任技術者

県内統一試験のご案内

■日時

11月15日(日)13時〜15時30分

■場所

協同の社J A研修所(山形市)

■その他

希望者を対象に受験講習会を開催します。

■問合先 地域整備課水道業務担当(☎62-2431)へ

希望が丘祭中止の

お知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年10月初旬に実施している希望が丘祭を中止いたします。

■問合先 コロナー希望が丘

こだま寮(☎0238-46-3100)

9月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■3・4カ月児健診

- ・期 日 9月4日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 令和2年4月、5月生まれ

■9・10カ月児健診

- ・期 日 9月4日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 令和元年10月、11月生まれ

2. 場 所

健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合せ

健康管理センター (☎61-1000) へ

子育て支援センターから

■9月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要
子育て講座 「エアロビクス」	9月17日(休)	10:20~11:20・健康管理センター ※動きやすい服装でタオル・飲み物をお持ち下さい。	必要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・平熱より1度高い場合は発熱となり利用できません。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

休日当番担当歯科医のお知らせ

9月6日(日)	米沢 やまざき歯科医院	0238-21-6480
9月13日(日)	小国 加藤歯科医院	0238-62-2678
9月20日(日)	米沢 レインボー歯科医院	0238-26-1182
9月21日(月)	高畠 わたなベデンタルクリニック	0238-56-3888
9月22日(火)	米沢 クローバー歯科クリニック	0238-27-7301
9月27日(日)	高畠 つちや歯科医院	0238-52-0464

求 人 情 報

右の表は8月18日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
㈱山芳工務店	電気設備工 (見習い)	3人	9:00~18:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	重機オペレーター	1人	
安部工業(株)	型枠大工	1人	8:00~17:00
	一般作業員	1人	
	現場監督員	2人	
パーソルテンプスタッフカメイ(株)山形オフィス	(派) 一般事務	1人	8:30~17:15
協同薬品工業(株)	家庭薬配置員【山形営業所】	1人	9:00~17:00
㈱コメリ	店舗運営職・幹部候補 (ナショナル社員)	1人	8:45~18:00他
セキリティプレシャス(株)	交通誘導警備員【小国エリア】	5人	8:00~17:00
荒川興業(株)	製造加工【アークカーボン加工 メッキ工程】	1人	8:20~17:10他
社会福祉法人小国福祉会	看護師 (常勤正規職員)	1人	8:00~17:00他
	介護員	1人	
	介護員【年度更新】	1人	
日本重化学工業(株)小国事業所	電子材料の製造等スタッフ (契約社員)	3人	8:15~17:15他
	電子材料の製造等スタッフ	5人	
㈱小国いきいき街づくり公社	販売員	1人	9:00~18:00
	販売員 (パート)	1人	9:00~16:00他
猪野電気工事(株)	内線工事作業員	1人	8:00~17:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。

今月の納税 2020.9

9月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●9月28日(月) 水道料

●9月30日(水)

固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合せ

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

9月の あいバイイベント カーリンコン大会 (ニュースポーツ)



- 日 時 9月17日(木)10:00～12:00
- 対象者 一般のかた
- 参加費 1人200円（保険料込）
- 持ち物 室内シューズ、飲み物等
- 申込締切 9月13日(日)
- その他 仲間と一緒に参加できます。お一人での参加もお待ちしています。

■申込・問合せ
(☎62-5808)

特定非営利活動法人
おぐにYui
スポーツクラブ

町内イベント中止関連情報

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、下記イベントの開催を中止します。
ご理解のほどよろしくお願いします。

◎白い森スポーツフェスティバル
(旧サマースポーツ大会)

■問合せ先 教育振興課（☎62-2141）へ

令和2年度 西置賜地区 中学校新人体育大会の開催について

①地区新人大会は、9月26日(土)、27日(日)に実施する予定です。(8月21日現在)

②大会当日の会場への入場は、選手(1、2年生の生徒)、引率教員、大会役員、選手の家族のみとさせていただきます。なお、一般のかたの入場は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、お控えいただきますようお願いいたします。

■問合せ先 西置賜地区中体連（長井南中学校）
(☎0238-88-5311) へ

第2回越後米沢街道・ 十三峠トレッキング



イザベラ・バードの旅行記の舞台にもなった越後米沢街道・十三峠。今回は、美しいブナ林を行く朴ノ木峠、歴史の敷石道が残る黒沢峠を歩きます。

- 日 時 9月12日(土)8:30～16:00
- コース 朴ノ木峠～黒沢峠
- 集 合 おぐに開発総合センター8:30
- 定 員 10人
- 対 象 山形県在住の大人
- 参加費 1,000円（保険料、資料代等）
- 申込締切 9月7日(月)
- 申込・問合せ

NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（☎62-5955）へ



総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇カケラ	湊 かなえ
◇気がつけば、終着駅	佐 藤 愛 子
◇オンリーワンの花を咲かせる子育て	松 永 正 訓
◇無理難題が多すぎる	土 屋 賢 二
◇桃太郎は盗人なのか？	倉 持 よ つ ば

『やまがた縁結びたい』結婚相談会

結婚を希望しているが、なかなか出会いがない！など結婚に関するお悩みをお持ちの皆さまに無料で個別の相談会を開催します。

- 開催日程 9月6日(日)、10月11日(日)、11月8日(日)、12月6日(日)
- 会 場 あこや会館（山形市）
- 対 象 結婚を希望するかた 各回10名
(ご本人が出席できない場合、親御さんでも可)

■申 込

電話またはFAXにて開催日の2日前までにお申し込みください。

- 申込・問合せ やまがた出会いサポートセンター事務所
平日9時～18時（☎023-615-8755）へ

編集後記

涼しい夏が終わり、少し短くなってきた。思い立った通り、特集でもお伝えした通り、町内でも大雨による被害が発生して、雨に悩まされた。また、水害を改めて感じました。また、コロナの影響により、秋のイベントの中止も相次ぎ、残念なニュースが増えてきています。美味しいものもいっぱい食べたいですね。(仁科)



●小国町役場 ☎62-2111代fax62-5464
 ●総務課（行政管理担当／管財・危機管理担当／財政担当） ☎62-2112 ●総合政策課 ☎62-2264
 ●会計室 ☎62-2406 ●観光経済室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

（ 7 月 届 出 分 ）

誕生おめでとうございます。

叶	水	中	島	葉	（基 雄）
				すね	美
叶	水	伊	藤	涼	（正 俊）
				ず	優
玉	川	佐	藤	凛	（孝 典）
				りん	沙
小	渡	玉	垣	愛	（智 梨）
				いと	裕

結婚おめでとうございます。

（	小国小坂町	船	山	健	吾
	飯豊町	伊	藤	真	緒
（	古	田	木	村	元
	種	沢	佐	野	聡
（	岩井沢	山	中	那	智
	兵庫館	齋	藤	香	穂
（	岩井沢	木	村	祐	介
	岩井沢	木	村	麻	菜

おくやみ申し上げます。

幸	町	今	良	明	(63)
大	石	沢	山	口	鐵
長	沢	益	田	禮	司
杉	沢	須	貝	信	也
樽	口	米	野	岩	根
北	舟	山	イ	チ	(86)
幸	町	平	山	雄	二
緑	町	長	岡	正	博
焼	山	奥	村	ハ	ル
泉	岡	横	山	八	雄
小	渡	金	雄	一	(84)
伊	佐	領	高	橋	隆
泉	岡	横	山	ト	モ

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき（令和2年7月31日現在）

人口	男	・	・	・	3,635人	（	-	10）
	女	・	・	・	3,677人	（		0）
	計	・	・	・	7,312人	（	-	10）
世帯数					3,034世帯	（		0）

仕事 vol.27 図鑑

医療法人社団緑愛会 満天の家

代表者 所長 佐々木 久義
 従業員数 30人
 所在地 小国町大字幸町6-1
 事業概要 認知症対応型共同生活介護・通所介護

空に輝く満天の星のごとく、お一人おひとりがかがやき、満ち足りた人生を送ってほしいと願いが込められ、平成18年4月に医療法人社団緑愛会 満天の家は開所しました。そこで働く、舟山美咲さん（越中里）。高校卒業後に同グループのかがやきの丘（川西町）で2年程勤め、職場の資格支援制度（コヤマカレッジ）を利用し、介護福祉士の資格を取得しました。介護職を選んだきっかけを「中学生のときにおじいちゃんが訪問介護を受けていて、その対応していただいた職員のかたの笑顔が素敵だったことです。」と話してくださいました。現在は認知症の進行を緩やかにすることを目的とした生活サポートやグループホームのユニット管理者として事業運営会議へ出席し運営方針などを話し合っています。舟山さんは、「利用者のかたがたは、家族と離れているので、帰りたいと不安を訴えるかたも多く、少しでも明るくなれるよう色んな話題を提供するように心掛けています。ここにきて良かった！と笑顔が見られると嬉しくなります。ユニット管理者になってもうすぐ1年になりますが、少しでも満天の家の力になれるよう頑張りたいです。」と話してくださいました。

満天の家は、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）定員18人とデイサービスセンター（通所介護）定員30人の2事業を行っています。グループホームでは、町に住所を有し、要支援2または、要介護認定を受けたかたを対象に、住み慣れた地域・家庭的な雰囲気の中で、利用者に応じたサービスを提供しています。デイサービスセンターは、健康管理・入浴・食事・ケア全般のサービスを提供しています。また、自立維持のためのパワーリハビリテーションも行っています。満天の家は、「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造福祉」を理念に、認知症ケアの専門職として日々の研鑽を図り、今後も医療機関やサービス提供事業所と連携し、質の高いケアの提供・小国町の福祉の発展に努めていきます。



▲明るい笑顔を見せてくれた舟山美咲さん

ドローンがみた、 おぐにの風景

No.16



①⑥「朝日連峰 ^{はんなりだいら} 針生平五味沢登山口」

朝日連峰の小国町側の玄関口となり、数多くの登山者が訪れる針生平五味沢登山口。沢の水は泳ぐ魚が見えるのではと期待させるほど透きとおり、これから自然豊かな朝日連峰への道のりが始まることを連想させ、登山者の心を弾ませます。「白い森交流センターりふれ」から15分ほど車を走らせると大石吊橋前の駐車場までアクセスできますので、山に登らないかたも清流を眺めながらの吊橋体験をしてみたいかがですか。きっと、日々の疲れた体を癒してくれることでしょう。